

III 変わりゆくまち（戦後）

太平洋戦争が終わると、新しいまちが動きはじめます。多摩飛行場は米軍基地として拡大再編され、朝鮮戦争の特需景気や高度経済成長の波に乗って市街は広がっていきました。一方で、基地の存在は市民に長く不安な日々をももたらしたのです。また、郷土再生に向けて多くの青年達が西多摩地域の先駆けとなって多彩なサークル活動や学習会などを展開しました。これは現在の市民文化活動の礎といえるものです。このように市民自らが生活に根づいた伝統や文化を大切にし、経済の発展と調和のとれたまちづくりが望まれます。



35 日本国憲法公布記念パレード 福生 昭和21年

36 同人誌「道芝」の会員 福生（福生青年団倶楽部図書室） 昭和24年頃





37 福生町役場屋上より横田基地方面をのぞむ 福生町役場 昭和 24 年頃

38 町制 10 周年記念町民大運動会 福生グラウンド（現第二市営住宅付近） 昭和 25 年 11 月





39 福生駅東口開設 福生駅 昭和26年

40 青年団主催の盆踊り 熊川（福生第二小学校校庭） 昭和33年7月





41 横田基地内への町議の視察 横田基地 昭和31~35年頃

42 旧牛浜駅舎 牛浜駅 昭和35年





43 福生銀座通りの五王バス（現西東京バス） 福生銀座通り 昭和35年

44 国道16号線沿いの商店 昭和35年





45 柳通り 福生（現さくら銀行付近） 昭和38年

46 福生駅東口通り 福生駅前 昭和38年





47 福生駅前広場の改修工事 福生駅前 昭和38年

48 福生駅前の交番 福生駅前 昭和38年





49 区画整理のすすむ加美平 福生（加美平） 昭和 38 年頃

50 横田基地内に残る旧日本軍の建物 横田基地 昭和 63 年

